

# 写真と美術

担当教員 松蔭浩之

受講アトリエ [802] 修得単位：1単位

2020/10/6(火)-2020/11/24(火)

9:30-12:40

## 授業内容

歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月6日	火	○	写真の誕生/カメラの仕組み		授業カリキュラム	
2	10月13日	火	○	デジタルカメラ入門1		授業カリキュラム	
3	10月20日	火	○	私の写真論1/カルティエ・ブレッソンを「読む」		授業カリキュラム	
4	10月27日	火	○	私の写真論2/WS「モノクロ・ユニバース」		授業カリキュラム	
5	11月10日	火	○	デジタルカメラ入門2/スティルライフ		授業カリキュラム	
6	11月17日	火	○	セルフポートレート/森村泰昌		授業カリキュラム	
7	11月24日	火	○	講評会		授業カリキュラム	

## 学習目標

写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。

## 予習・準備物

カメラ（フィルム、デジタル問わず）。スマートフォンでも可

## 注意事項

## 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

# 絵画技法実習

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [ ] 修得単位：2単位

2020/6/26(金)-2020/9/25(金)

9：30-12：40 13：30-16：30

## 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月26日	金		実技カリキュラム	○	オリエンテーリング技法説明、制作	グリザイユ
2	7月3日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
3	7月10日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
4	7月17日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
5	7月31日	金	○	制作、講評		実技カリキュラム	↓
6	9月4日	金		実技カリキュラム	○	水張り、技法説明、制作	水彩
7	9月18日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
8	9月25日	金		実技カリキュラム	○	制作、講評	↓

## 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

## 予習・準備物

モノクロの人物写真(顔) サイズ227x158mm(タテ・ヨコ自由)をA4の紙にプリントアウトしたもの 面相筆、平筆(小)

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点

# 絵画と物語

担当教員 山口 藍

受講アトリエ [ ] 修得単位：4単位

2020/9/1(火)-2020/10/22(木)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。

※キャンバス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	9月1日	火		現代美術演習B	○	オリエンテーション		
2	9月2日	水		制作		制作		
3	9月3日	木		制作	○	制作指導		
4	9月4日	金		制作		絵画技法実習(工藤)		
5	9月5日	土		制作/フランス語		海外留学担当講座		
6	9月6日	日						
7	9月7日	月		美術日本語	○	制作指導		
8	9月8日	火		現代美術演習B		制作		
9	9月9日	水		制作		制作		
10	9月10日	木		制作	○	制作指導		
11	9月11日	金		制作		制作		
12	9月12日	土		制作/フランス語		制作		
13	9月13日	日						
14	9月14日	月		美術日本語	○	制作指導		
15	9月15日	火		現代美術演習B		制作		
16	9月16日	水		制作		制作		
17	9月17日	木		制作	○	制作指導		
18	9月18日	金		後期ガイダンス		絵画技法実習(工藤)		
19	9月19日	土	創立記念日振替休日					
20	9月20日	日						
21	9月21日	月	敬老の日					
22	9月22日	火	秋分の日					
23	9月23日	水		制作		制作		
24	9月24日	木		制作		制作		
25	9月25日	金	○	制作指導		絵画技法実習(工藤)		
26	9月26日	土		制作/フランス語		制作		
27	9月27日	日						
28	9月28日	月		美術日本語		制作		
29	9月29日	火		現代美術演習B		制作		
30	9月30日	水		制作		制作		
31	10月1日	木		制作		制作		
32	10月2日	金	○	制作指導		海外留学担当講座		
33	10月3日	土	合同講評会					
34	10月4日	日						
35	10月5日	月		美術日本語		制作		
36	10月6日	火		写真と美術	○	制作指導		

37	10月7日	水	制作		制作	
38	10月8日	木	制作		制作	
39	10月9日	金	制作		制作	
40	10月10日	土	制作／フランス語		制作	
41	10月11日	日				
42	10月12日	月	美術日本語	○	制作指導	
43	10月13日	火	写真と美術		制作	
44	10月14日	水	制作		制作	
45	10月15日	木	制作		制作	
46	10月16日	金	制作		制作	
47	10月17日	土	制作／フランス語		制作	
48	10月18日	日				
49	10月19日	月	美術日本語	○	制作指導	
50	10月20日	火	写真と美術		制作	
51	10月21日	水	制作		制作	
52	10月22日	木	制作	○	講評	

### 学習目標

支持体と描画の関係性

平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。

### 予習・準備物

支持体として活用できるもの。作品の題材となる図書など

### 注意事項

自分が選択した題材および素材に真摯に向き合い、今後の制作活動にもつなげていけるような作品にするため、指導日には必ず話し合えるようにしましょう。

※ 状況により講評がzoomになる場合、可能な限り前日までに学校に課題を提出しておいてください。(課題内容の性質上、質感なども含め講評するため)

### 評価方法

課題提出による採点

# 絵画材料実習

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [801 802] 単位修得：3単位

2020/8/4(火)-2020/8/15(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

油性キャンバス（市販）の張り方から吸収性キャンバス（白亜地）及び半吸収性キャンバス（エマルジョン）の製作を通して、顔料や膠など様々な材料に触れると同時に絵の具や溶き油の性質の講義も行う。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	8月4日	火		現代美術演習B	○	市販キャンバス張/膠膨潤	pm1:30~2:30
2	8月5日	水		自主制作	○	吸収性キャンバス製作（膠引き）	pm2:00~
3	8月6日	木		絵画概論	○	吸収性キャンバス製作（白亜塗布）/油絵具講義	
4	8月7日	金		自主制作		自主制作	
5	8月8日	土		自主制作/フランス語		自主制作	
6	8月9日	日					
7	8月10日	月		自主制作	○	半吸収性キャンバス製作（膠引き）	
8	8月11日	火		現代美術演習B		自主制作	
9	8月12日	水		自主制作	○	半吸収性ス製作（エマルジョン塗布）	
10	8月13日	木		絵画概論		自主制作	
11	8月14日	金		自主制作	○	キャンバス研磨/自主制作講評	講評は701で行う
12	8月15日	土		自主制作/フランス語		自主制作（予備日）/清掃	

## 学習目標

絵画では描く行為の前にどのような支持体を準備するかによってその表現を大きく左右することになる。この授業では近世以降、油画の支持体の中心をなしてきたキャンバスの製作や材料講義を通してそれらが表現に与える影響を理解する。

## 予習・準備物

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点

# ドローイング

担当教員 工藤礼二郎、山本晶

受講アトリエ [802] 単位修得：3単位

2020/7/20(月)-2020/8/3(月)

9：30-12：40 13：30-16：30

## 授業内容

「7日間の色と形」「7日間の身体性」をテーマに様々な手法でドローイングを行い、イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。最終的にはそれらのドローイングが作品として自立しうるかを検証する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月20日	月			○	オリエンテーション/造形要素の サンプリング①	指導/工藤
2	7月21日	火		現代美術演習B		絵画技法実習(安藤)	
3	7月22日	水		造形要素のサンプリング②③	○	造形要素のサンプリング④	指導/山本
4	7月23日	木		絵画概論		造形要素のサンプリング⑤	
5	7月24日	金		現代美術演習A	○	造形要素のサンプリング⑥	指導/山本
6	7月25日	土		制作/フランス語		造形要素のサンプリング⑦	
7	7月26日	日					
8	7月27日	月		総合的ドローイング制作	○	総合的ドローイング制作	指導/工藤
9	7月28日	火		現代美術演習B		絵画技法実習(安藤)	
10	7月29日	水		総合的ドローイング制作		総合的ドローイング制作	
11	7月30日	木		絵画概論	○	総合的ドローイング制作	指導/山本
12	7月31日	金		絵画技法実習(工藤)		総合的ドローイング制作	
13	8月1日	土		制作/フランス語		総合的ドローイング制作	
14	8月2日	日					
15	8月3日	月		総合的ドローイング制作	○	講評	指導/工藤・山本

## 学習目標

絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。

## 予習・準備物

様々な画材（授業内で説明します）

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点

# 日本語能力試験N1対策

担当教員 蔣

修正日：2020.7.1

履修単位数：2

6月8日以降 AM:9:30~/PM:13:30~

## 授業スケジュール/計画

			AM	PM
1	5月14日	木		N1対策 (ZOOM)
2	5月16日	土	N1対策 (ZOOM)	
3	5月18日	月	N1対策 (ZOOM)	
4	5月21日	木		N1対策 (ZOOM)
5	5月25日	月	N1対策 (ZOOM)	
6	5月27日	水	N1対策 (ZOOM)	
7	5月28日	木		N1対策 (ZOOM)
8	5月30日	土	N1対策 (ZOOM)	
9	6月4日	木		N1対策 (ZOOM)
10	6月5日	金		N1対策 (ZOOM)
11	6月6日	土	N1対策 (ZOOM)	
12	6月15日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
13	6月20日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
14	6月22日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
15	6月27日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
16	6月29日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
17	7月6日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
18	7月13日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
19	7月25日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~302)	
20	8月1日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~402)	
21	8月10日	月	N1対策 (対面+ZOOM3) 701 (8月8日補講のため)	

## 学習目標

日本語能力試験を合格すること

## 予習・準備物

筆記用具

## 注意事項

取り組み姿勢による採点

## 評価方法

自主性を伴った授業出席で評価します。

## 物質と絵画

担当教員 伊藤泰雅

受講アトリエ [802] 単位修得：4単位

2020/6/8(月)-2020/7/18(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

## 授業内容

主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数も可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月8日	月		日本語能力試験N1	○	リモート授業	YouTube
2	6月9日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	デッサン：モノクローム
3	6月10日	水		制作		制作	
4	6月11日	木		絵画概論		制作	
5	6月12日	金		制作	○	制作指導	
6	6月13日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語		制作/映像ワークショップ	
7	6月14日	日					
8	6月15日	月		制作/日本語能力試験N1		制作	デッサン：コラージュ
9	6月16日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
10	6月17日	水		制作	○	制作指導	
11	6月18日	木		絵画概論		制作	
12	6月19日	金		現代美術演習A		制作	
13	6月20日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語	○	制作指導	
14	6月21日	日					
15	6月22日	月		制作/日本語能力試験N1		制作	コラージュ：下地塗り
16	6月23日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
17	6月24日	水		制作	○	制作指導	
18	6月25日	木		絵画概論		制作	
19	6月26日	金		制作		絵画技法実習(工藤)	
20	6月27日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語	○	制作指導	
21	6月28日	日					
22	6月29日	月		制作/日本語能力試験N1		制作	下地と描画(描き出し)
23	6月30日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
24	7月1日	水		制作	○	制作指導	
25	7月2日	木		絵画概論		制作	
26	7月3日	金		絵画技法実習(工藤)		制作	
27	7月4日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語	○	制作指導	
28	7月5日	日					
29	7月6日	月		制作		制作	描画(中間)
30	7月7日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
31	7月8日	水		制作	○	制作指導	
32	7月9日	木		絵画概論		制作	
33	7月10日	金		制作		絵画技法実習(工藤)	
34	7月11日	土		制作/フランス語	○	制作指導	
35	7月12日	日					
36	7月13日	月		制作/美術日本語		制作	描画(詰め)
37	7月14日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
38	7月15日	水		制作	○	制作指導	



39	7月16日	木	絵画概論	制作
40	7月17日	金	制作	絵画技法実習(工藤)
41	7月18日	土	合同講評ガイダンス	○ 講評

### 学習目標

主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。

### 予習・準備物

制作ノート (テーマ,モチーフを書き出しておく) モチーフ資料(描きたい物,写真,画像等)

### 注意事項

デッサン=木炭,鉛筆など 有色デッサン=水彩,パステルなど 制作=主にタブロー 採点日厳守

### 評価方法

デッサン,エスキース,タブローの三点を採点。理解度,完成度,作品の魅力から総合的に評価。

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習 A

2020.5.25修正

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [ ] 修得単位：1単位

2020/6/9(火)-2020/7/24(金)

9:00-12:10

### 授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月9日	火	○	オリエンテーション		絵画技法	自宅にある画材（紙類や絵具・色鉛筆・ペンなど）や道具（のり・ボンドやハサミ・カッターなど）を準備
2	6月16日	火	○	自己と表現と人の考え		絵画技法	1年次に制作した作品1点 描画材・スケッチブックあるいは水彩紙など
3	6月19日	金	○			実技カリキュラム	
4	6月23日	火	○	描かれるもの		絵画技法	支持体となる水彩紙・キャンバス以外の描画材
5	6月30日	火	○	色について		絵画技法	水彩絵具・水彩紙
6	7月7日	火	○	破壊と再構成の自画像		絵画技法	雑誌・本・ポスター等
7	7月14日	火	○	拡張する絵画		絵画技法	水彩紙（B2）・画材
8	7月24日	金	○	講評		実技カリキュラム	

※全てZOOMによるリモート授業になります

### 学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

### 予習・準備物

オリエンテーション（初日）は自宅にある画材や道具を用意しておいてください。各授業の最後に次回準備するものをお伝えします。

### 注意事項

学校ではカルトンを貸し出しできましたが、自宅での作業ですのでカルトンやパネルなどの画板を準備してください。

毎回制作した作品をスマートフォンなどで撮影し画像として保存してください（複数・様々な角度から撮っておくことをおすすめします）。※ファイル形式はjpeg推奨 1枚につき最大でも5MB以下

### 評価方法

制作姿勢・作品・出席による採点

# 絵画技法実習

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ [要町アトリエ3F] 修得単位：2単位

2020/6/9(火)-2020/7/28(火)

13：30-16：30

## 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月9日	火		現代美術演習A	○	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し	図版は予め学生が準備
2	6月16日	火		現代美術演習A	○	地透層 (インプリマトゥーラ) 白色浮出	卵テンペラ 溶油の調合 他
3	6月23日	火		現代美術演習A	○	油絵の具1層目及び白色浮出	
4	6月30日	火		現代美術演習A	○	油絵の具2層目及び白色浮出	
5	7月7日	火		現代美術演習A	○	制作	
6	7月14日	火		現代美術演習A	○	制作	
7	7月21日	火		現代美術演習B	○	制作	
8	7月28日	火		現代美術演習B	○	講評	採点

## 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

## 予習・準備物

描きたい人物の図版(写真)を各自準備する。図版はなるべく陰影があるものが望ましい。

尚図版は初日オリエンテーションの際に講師がチェックします。描きにくい図版の場合変更してもら場合があります。

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点

- 制作期間に見合う十分な完成度があるか
- 技術的な側面として混合技法の特徴を引き出した作品であるか
- 絵画表現として豊かな感性が感じられるか等

## 絵画概論

担当教員 早見 堯

受講アトリエ【要町アトリエ1F】 修得単位：1単位

2020/6/11(木)-2020/8/13(木)

11：10-12：40

### 授業内容

ベラスケスやエッシャー、デュシャンなどを通して絵画が成り立つ仕組みを知り、現代アートを中心にして古今東西の絵画を見ながら、それぞれの絵画がどういうふうになられ、どう見えるのかを一緒に考えていきます。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月11日	木	○	オリエンテーション；絵画を見るときは連想することだという観点から絵画をしてみる		実技カリキュラム	
2	6月18日	木	○	20世紀以後の絵画を「様式」の変遷として見ることはできるのか？という問題意識で絵画を見る		実技カリキュラム	
3	6月25日	木	○	「正面」と「斜め」の関係として絵画を見るームンク、ゴッホ、アンゼルス・キーファーほか		実技カリキュラム	
4	7月2日	木	○	再解釈&再創造として絵画を見る①；ピカソーモンドリアンーポロックーフランク・ステラー岡崎乾二郎、村上隆ほか		実技カリキュラム	
5	7月9日	木	○	いま、日本の絵画は？ここ5年以内の日本の絵画①		実技カリキュラム	
6	7月16日	木	○	再解釈&再創造として絵画を見る②；マティスーバーネット・ニューマンーケネス・ノーランドー根岸芳郎、工藤礼二郎、馬場健太郎ほか		実技カリキュラム	
7	7月23日	木	○	絵を描く画家という生き方；藤田嗣治の戦争記録画「神兵の救出到る」をめぐって		実技カリキュラム	
8	7月30日	木	○	画家が時代を先導するアヴァンギャルドである条件；岡本太郎の作品を見る		実技カリキュラム	
9	8月6日	木	○	問題発見と問題解決で生まれる絵画；山田正亮		実技カリキュラム	
10	8月13日	木	○	いま、日本の絵画は？ここ5年以内の日本の絵画②		実技カリキュラム	

### 学習目標

絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。

### 予習・準備物

予習；毎回のテーマとアーティストを確認して授業内容を予想してみよう。準備物；知りたい&わかりたいという情熱

### 注意事項

描くことと見ることは相互交通だという気持ちで人が描いた絵画を見て自分が描くことにつなげていく。

### 評価方法

①毎回の授業後の「今日わかったこと」一言短文作成 ②最後の「わたしにとって絵画とは」レポート作成

## 現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [ ] 修得単位：1単位

2020/7/21(火)-2020/9/29(火)

9：30-12：40

## 授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作のヒントを得るために、レクチャーと課題&講評会、課外授業を組み合わせたカリキュラムを行います。レクチャーでは、現代美術についての原理的な解説、日本現代美術史と戦後日本文化全般の解説を中心に行います。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月21日	火	○	オリエンテーション		絵画技法(安藤)	
2	7月28日	火	○	レクチャー②(課題①出題)		絵画技法(安藤)	
3	8月4日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー①		実技カリキュラム	
4	8月11日	火	○	課題①講評会+レクチャー②		実技カリキュラム	
5	9月1日	火	○	レクチャー③(課題②出題)		実技カリキュラム	
6	9月8日	火	○	課題②講評会+レクチャー④		実技カリキュラム	
7	9月15日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー②		実技カリキュラム	
8	9月29日	火	○	講評		実技カリキュラム	

## 学習目標

現代の視覚文化は映像を媒体としたコンテンツを抜きにして成立しません。サブカルチャーからハイカルチャーまで、映像というメディアがどのような役割を果たし、どのように展開したのか。本講義では主に戦後日本を中心としてアニメや映画、ゲームなどの映像コンテンツが表現してきたものを読み解いていきます。

## 予習・準備物

授業内でその都度指示する

## 注意事項

特になし

## 評価方法

授業態度及び提出課題による採点